

2019年12月13日

ノートルダム清心女子大学

2021年度大学入試(2020年度実施)における英語民間試験の利用について

2019年11月1日付けで、萩生田光一文部科学大臣から、2021年度大学入試(2020年度実施)における英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入を見送るとの発表がありました。

この発表を受け、本学では2021年度大学入試(2020年度実施)においては下記のように対応致します。

なお、今後、文部科学省から新たな方針等が示され、今回の対応に影響を及ぼす場合には、この内容を変更する可能性があります。変更が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

また、2021年度以降に実施する入学者選抜における英語の4技能を評価する方法については、引き続き検討します。

今後、選抜方法の見直し等により変更が生じる場合があります。2021年度大学入試(2020年度実施)の選抜方法の詳細は、2020年3月を目途に本学ホームページにて発表する予定です。

記

【一般選抜】

英語の資格・検定試験については、本学が指定する民間の資格・検定試験の成績を用い、「みなし得点」方式として活用すると2019年3月22日に公表していましたが、今回の文部科学省の決定をうけ、基本方針の見直しが必要であるとの判断に至りました。

学内において対応を協議した結果、本学は、2021年度大学入試(2020年度実施)においては[民間の資格・検定試験を活用しない]ことを決定しました。

【一般選抜(共通テスト併用)】 【共通テスト利用選抜】

2019年3月22日に公表した方針の通り、英語については、「大学入学共通テスト」の教科「外国語」出題科目「英語(リスニングを含む)」の得点を利用します。

大学入試センターが認定する民間の資格・検定試験については、利用しません。